

山梨県におけるCKD医療連携



- 特徴
- 1) 全県共通のCKD医療連携
 - 2) 行政と一体となり取り組む医療連携
 - 3) 糖尿病性腎症重症化予防対策と共通のプラットフォーム
 - 4) 2010年から続くYCKDI(山梨慢性腎臓病対策協議会)の活動

山梨県	代表	原口和貴
同	リーダー	内村幸平
同	同	廣瀬 真
同	同	若杉正清



1-①) 全県共通のCKD医療連携

医療機関通院患者

認定連携医
または
かかりつけ医

認定連携医リスト
を参考に選択

健診・ドック有所見者

健診・人間ドック
医療機関

専門医リストを参考に専門医を選択

腎臓専門医

全県で毎年約1000人がCKD
医療連携システムを利用している

紹介基準

① eGFR値による紹介基準

- 40歳未満の患者さん
60 mL/分/1.73m²未満
- 40歳以上70歳未満の患者さん
50 mL/分/1.73m²未満
- 70歳以上の患者さん
40 mL/分/1.73m²未満
- 3ヶ月以内に 30%以上の eGFRの低下

② 蛋白尿による紹介基準

- 検尿の場合
蛋白尿 2+以上
- 尿蛋白/尿クレアチニン比
0.5 g/gCr以上(随時尿)
- 蛋白尿と血尿
ともに陽性(1+以上)
- 糖尿病がある場合
程度は問わず蛋白尿が陽性

患者さんの検査値が、上記の① または② の項目に1つでも該当する場合は腎臓病診療施設と連携して診療する。

ご紹介いただく際のお願い

- 健診で指摘されたeGFRの異常はご紹介いただく前に再検査をお願いします。(絶飲食下では脱水によりeGFRが低めに出来ますので、自由飲水・摂食下でご再検ください。)
- 蛋白尿の異常は可能な限り尿蛋白/尿クレアチニン比を定量してご紹介ください。
- 可能な限り血清クレアチニン(Cr)値の経時的推移をお知らせください。
- 診療情報提供書に必ず今後のフォロー先(紹介元・専門医・どちらでもよい)を明記してください。
- 必ず現在の処方内容と半年以内の処方変更歴や臨時処方をお知らせください。(患者さんに過去半年分のお薬手帳を持参させていただいても結構です。)

山梨県CKD予防推進対策協議会2015年11月作成

再紹介チェックシート

患者名: 様 生年月日: 年 月 日 (歳) 男・女

連携腎臓専門医: 病院名: 医師名:

- 患者様受診時の定期的なチェックにご使用ください。
- 下記再紹介指針はあくまで目安です。先生方のご判断で再紹介をご検討ください。
- ご紹介いただく際は診療情報提供書と検査データの時系列等を添付してください。

チェック項目	再紹介の判断指針
身体所見 血圧	mmHg 左記の値より頻回に30mmHg以上上昇した場合
体重	2 kg/月以上急激に増加した場合
浮腫	浮腫が増悪した場合
心不全症状	呼吸困難・心不全症状の出現
検査所見 血清クレアチニン値	mg/dL 左記の値より高くなった場合
eGFR	mL/分/1.73m ² 左記の値より低くなった場合
血清カリウム値	5.5 mEq/L以上に上昇した場合
ヘモグロビン値	g/dL 左記の値より低くなった場合
尿蛋白/尿クレアチニン比	g/gCr 左記の値より多くなった場合

<栄養指導>

- 本患者には栄養指導は不要と判断します。
- 当院で栄養指導済みです。
- 貴院で栄養指導をご検討下さい。

項目	指導内容
総エネルギー	kcal
たんぱく質	g
塩分	g
カリウム	mg

※外来での栄養指導は、山梨県栄養士会から管理栄養士を派遣していただく方法もあります。ご希望の場合は、山梨県栄養士会にご相談下さい。山梨県栄養士会: 055(222)8593

糖尿病専門医との連携

- 糖尿病専門医へ紹介することを推奨します

HbA1c	%
血糖値(食後 時間)	mg/dL

次回再診日: 年 月 日 午前・午後 時 分から・上記再紹介指針のいずれかを満たすとき

病診連携紹介状

下記の患者をご紹介申し上げます。ご高診をよろしくお願いいたします。 平成 年 月 日

<紹介先医療機関> 紹介元医療機関名: 先生 担当医師: 先生
医療機関名: 医療機関名: 電話・FAX: 電話番号: 職業: 職業

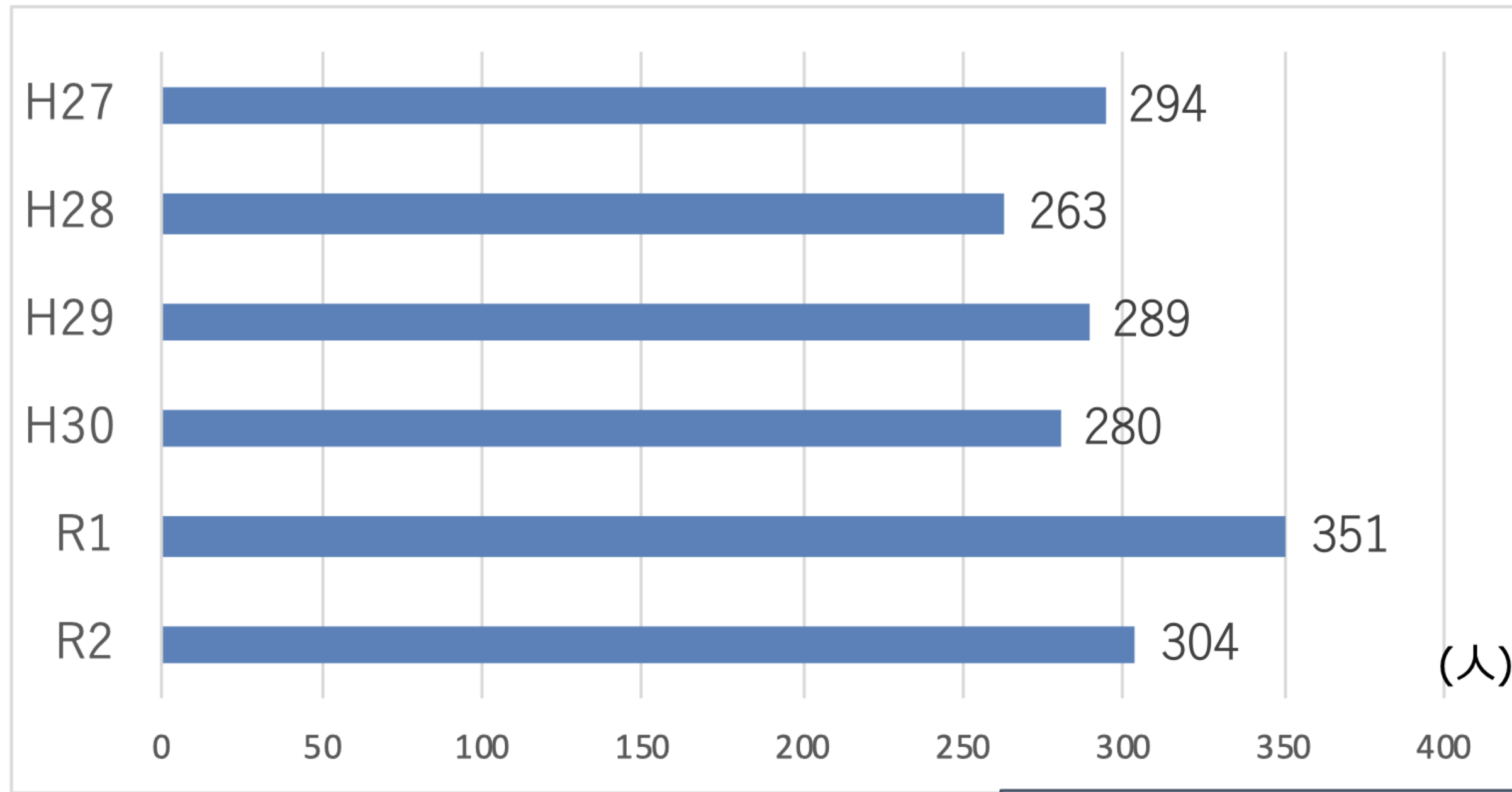
患者氏名	性別	生年月日	大正・昭和・平成	年 月 日 (歳)
傷病名		住所		
		電話番号		
紹介基準 (該当項目にチェック)	①40歳未満	eGFR60未満	⑤尿蛋白2+以上	
	②40歳~69歳	eGFR50未満	⑥尿蛋白/尿クレアチニン比 0.5g/gCr以上	
	③70歳以上	eGFR40未満	⑦尿蛋白と血尿がともに陽性(1+以上)	
	④3ヶ月以内に30%以上のeGFRの低下		⑧糖尿病がある場合は程度を問わず尿蛋白が陽性	
検査所見 (検査結果のコピーを添付でも可)	eGFR	血清クレアチニン mg/dL	血尿	- ± + 2+ 3+
	尿蛋白	- ± + 2+ 3+	血糖	mg/dL (空腹・食後 時間)
	血圧	/ mmHg	HbA1c	%
	尿蛋白/尿クレアチニン比	g/gCr		
既往歴 及び 家族歴				
症状経過				
治療経過				
現在の処方 (処方箋のコピーも可)				
紹介後の方針	* 今後のフォロー先のチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 紹介元(自院)のみ <input type="checkbox"/> 専門医に任せる <input type="checkbox"/> どちらでもよい			

<ご紹介いただく際のお願い> ※各項目をご確認の上、□にチェックをお願いします。
 健診で指摘されたeGFRの異常はご紹介いただく前に再検査をお願いします。
 (絶飲食下では脱水によりeGFRが低めに出来ますので、自由飲水・摂食下でご再検ください。)
 蛋白尿の異常は可能な限り尿蛋白/尿クレアチニン比を定量してご紹介ください。
 可能な限り血清クレアチニン(Cr)値の経時的推移をお知らせください。
 診療情報提供書に必ず今後のフォロー先(紹介元・専門医・どちらでもよい)を明記してください。
 必ず現在の処方内容と半年以内の処方変更歴や臨時処方をお知らせください。(患者さんに過去半年分のお薬手帳を持参させていただいても結構です。)

1-②) 全県共通のCKD医療連携

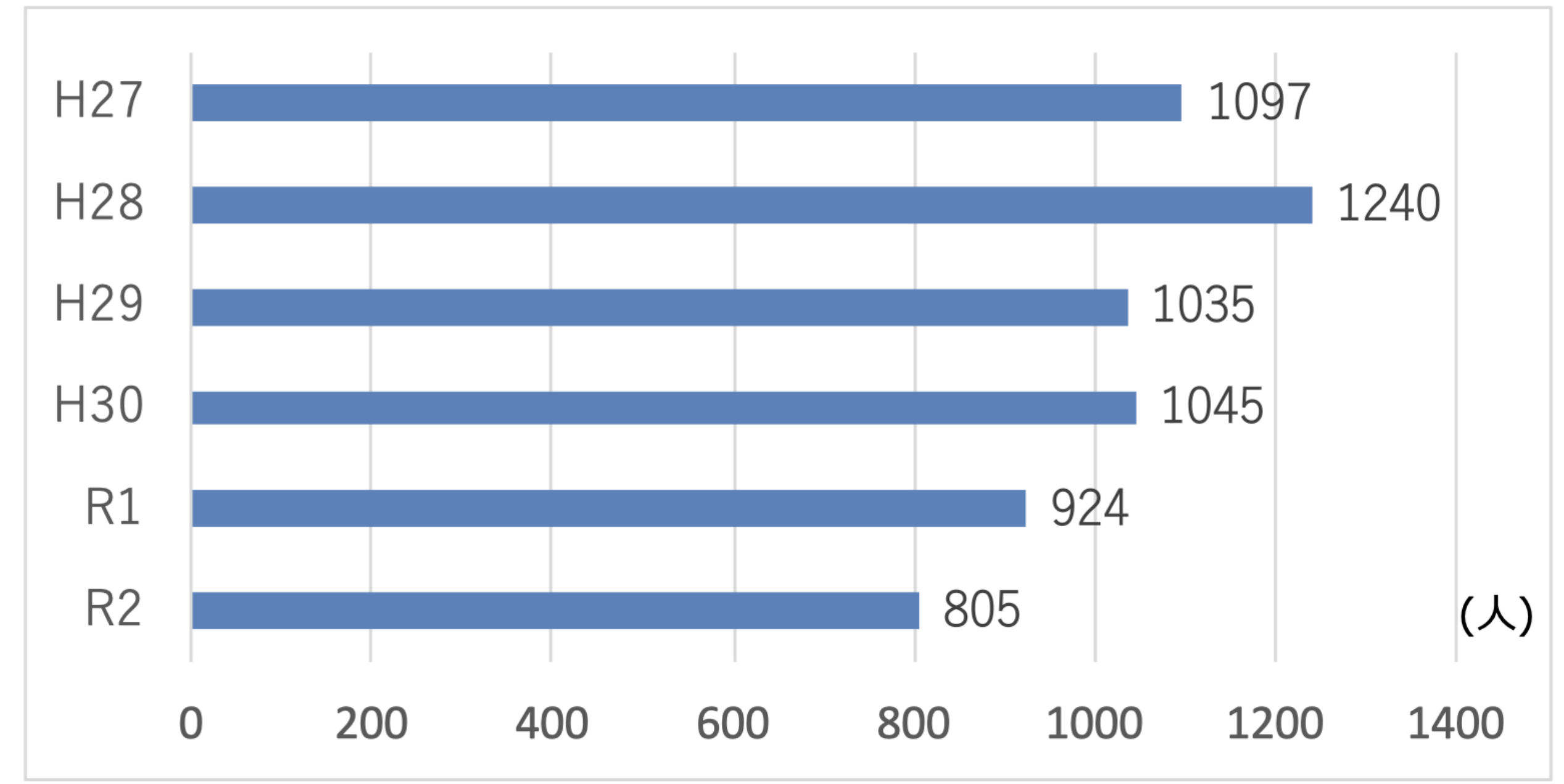
第一次山梨県CKD対策(5年間)の結果

透析医療機関において新規に透析を導入した維持透析患者の件数



山梨県健康増進課しらべ

かかりつけ医から腎臓病専門医に紹介のあった件数(15医療機関)



山梨県健康増進課しらべ

新規の透析導入は5年間では当初目標の“10%減少”に到達しなかった。連携による掘り起こし効果の他にも紹介患者のlate referralなども問題となっており今後の課題となっている。

コロナ禍と共にR1年には県内腎臓診療体制の急変がありR1,R2と紹介患者数が減少したがR3からは回復している(データ未発表)

2) 行政と一体となり取り組む医療連携

山梨県福祉保健部健康増進課

山梨県福祉保健部国保援護課

山梨県慢性腎臓病予防推進対策事業 CKD予防推進対策協議会

第1期2016年～ 第2期 2021年～

2021年10月15日

2022年8月31日

山梨腎臓内科医会発足

会長 原口和貴先生

日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会
(山梨慢性腎臓病対策協議会 2010年8月31日～)

山梨腎臓病療養指導士の会発足

会長 内村幸平先生

構成団体

- 山梨県医師会
- 山梨県歯科医師会
- 山梨県栄養士会
- 山梨県看護協会
- 山梨県薬剤師会
- 全国健康保険協会山梨支部
- 山梨県腎臓病協議会
- 山梨腎臓病療養指導士会
- 山梨県立中央病院
- 山梨大学医学部腎臓内科学教室
- 糖尿病対策推進会議
- 厚生連健康管理センター
- 保健所長会
- 富士吉田市役所
- 甲州市役所
- 日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会(再掲)
- 山梨腎臓病療養指導士会(再掲)

WEB併催

第1回 山梨腎臓内科医会 学術講演会

日時 2022年8月31日(水) 19:00～20:40

会場 ベルクラシック甲府 3階「エリザベート」
視聴予約URL: <https://cutt.ly/kLmgvky>

WEB ※Zoomウェビナーによるご視聴も可能です。WEBでの視聴をご希望の方は上記URL又は二次元コードからご登録ください。なお当日のご登録も可能です。

Program

学術情報提供 19:00～19:10 協和キリン株式会社

【開会の辞】 19:10～19:20
『山梨腎臓内科医会発足のご挨拶』
原口内科・腎クリニック 理事長 原口 和貴 先生

【一般講演】 19:20～19:40
座長 富士吉田市立病院 腎臓内科 医科部長 廣瀬 真 先生
『どこまで出来てる！？
iPS細胞からの腎臓再生』
演者 山梨大学医学部 内科学講座 腎臓内科学教室 講師 内村 幸平 先生

【特別講演】 19:40～20:40
座長 山梨県立中央病院 院長補佐 若杉 正清 先生
『腎臓病の克服を目指して
～山梨腎臓内科医会への期待～』
演者 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 主任教授 柏原 直樹 先生

※会場には軽食をご用意しております。
※本セミナーで取得したご施設名・ご所属・ご職種・ご氏名・メールアドレスは、弊社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供並びに参加者に関するご確認のために利用させていただきます。また当該情報は共催の山梨腎臓内科医会に開示させていただきます。ご同意いただけるようでしたらご参加ください。

共催：山梨腎臓内科医会 協和キリン株式会社

山梨慢性腎臓病対策協議会

これからのCKD医療連携を考える会

日時：2022年9月8日(木) 18:30～20:30
形式：ZOOMによるオンライン配信 事前登録用 2次元バーコード

事前登録URL：
https://astrazeneca.zoom.us/webinar/register/WN_t2K5VINS5uU4SegDs6tNA

総合座長：原口内科・腎クリニック 院長 原口 和貴 先生

Lecture 1 (20min)：行政の立場から
「CKD医療連携における行政の役割について」
甲斐市 子育て健康部 健康増進課 成人保健係 大森 恵美子 先生

Lecture 2 (40min)：県外の事例をもとに
「群馬県におけるCKD対策とSGLT2阻害薬への期待」
群馬大学大学院医学系研究科 腎臓・リウマチ内科学 教授 廣村 桂樹 先生

Short Lecture & Discussion (60min)：
～専門医の立場から～
山梨県立中央病院 腎臓内科 医長 長沼 司 先生
～かかりつけ医の立場から～
たわら内科クリニック 院長 俵 章夫 先生
～腎臓病療養指導士の立場から～
原口内科・腎クリニック 看護師 齊藤 慶子 先生
山梨大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 橋田 文彦 先生

山梨県医師会生涯教育講座 10：チーム医療(1単位)、73：慢性疾患・複合疾患の管理(0.5単位) 申請中
日病薬院薬学認定薬剤師制度 単位取得予定

共催：山梨県慢性腎臓病対策協議会 / 山梨県薬剤師会 / 小野薬品工業株式会社 / アストラゼネカ株式会社 後援：中巨厚医師会 / 北巨厚医師会

第1回 山梨県CKDトータルケアセミナー

日時 2021年10月15日(金) 19:00～20:00

会場参加 APIO タワー館6階 サボイ
住所：山梨県中巨厚郡昭和町西条3600
TEL:055-220-6111

配信参加 Zoom WEB配信

プログラム

総合座長 原口内科・腎クリニック 院長 原口 和貴 先生

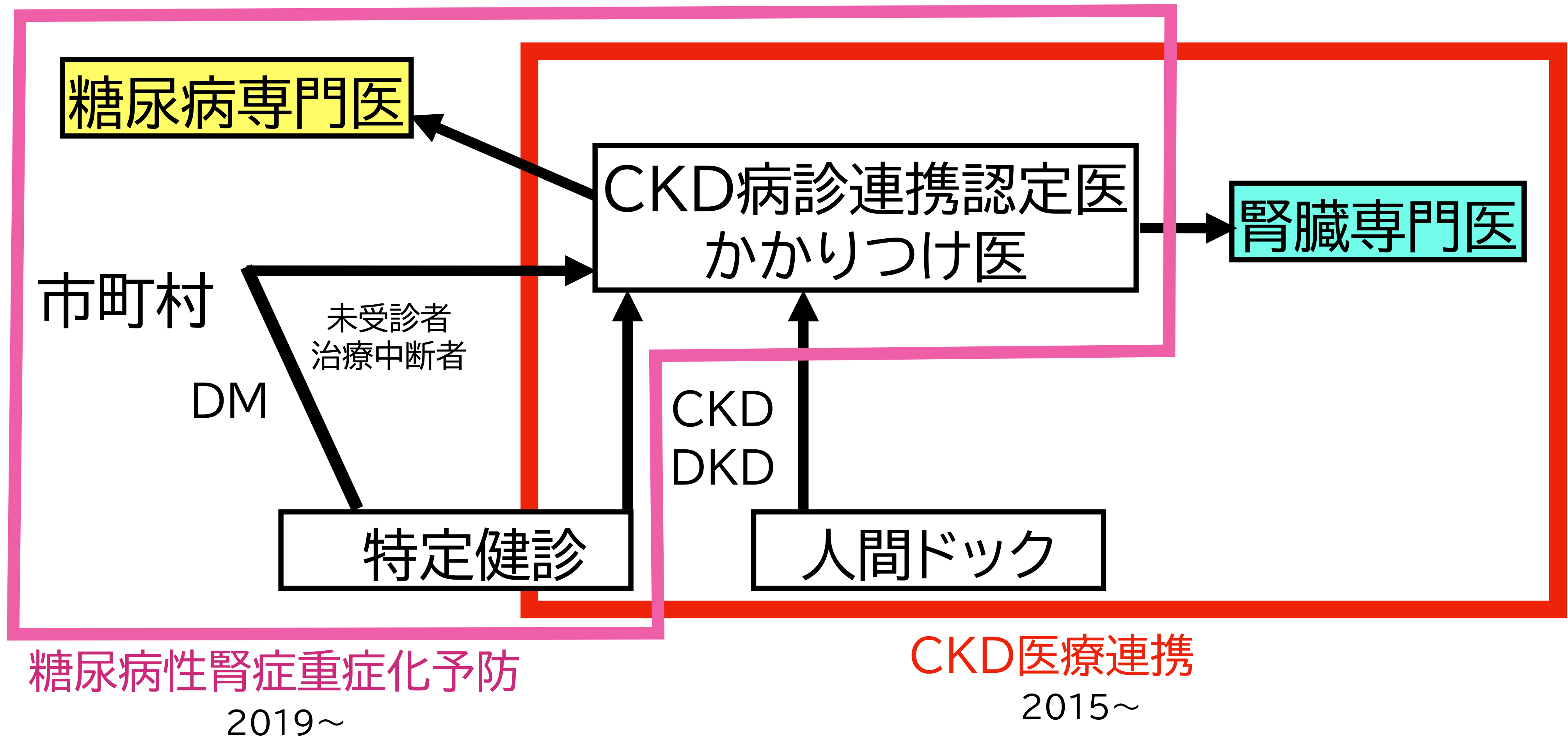
基調講演 19:00～19:30
「実践！！CKD診療 ～第1話 腎機能検査～」
山梨大学医学部附属病院 腎臓内科 助教・血液浄化療法部 副部長 内村 幸平 先生

特別講演 19:30～20:00
「保存期の水分・食事管理と外来栄養相談の実態」
演者 加納岩総合病院 栄養課 管理栄養士 猿渡 春香 先生

●会場およびZoom配信のハイブリッド形式にて開催いたします。
●会場にお越しの際は、マスクの着用をお願い致します。
●本会での飲食のご提供はございません。
●ご施設名、ご芳名につきましては、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただいております。

主催：田辺三菱製薬株式会社

3) 糖尿病性腎症重症化予防対策と共通のプラットフォーム



CKD病診連携認定医は2年に一度のCKDとDMに関する研修会を同時に受講する。研修会受講後、山梨県知事と山梨県医師会長の連名で認定書を受け取る。現在154名

4) 2010年から続くYCKDI(山梨慢性腎臓病対策協議会)の活動とCKD医療連携の歩み

- 2010年4月 山梨慢性腎臓病対策協議会(YCKDI)発足
市民公開講座(3回)、コメディカル研修会、市町村単位の講習会、
学会発表、検診医療機関、透析患者へのアンケート調査
- 2013年4月 山梨県健康増進計画「健やか山梨21」においてCKD対策が重点事業となる
- 2014年7月 山梨大学第3内科前教授北村健一郎先生着任
- 2014年 第1回、第2回CKD医療連携協議会にてCKD医療連携の骨子決定
- 2015年4月 山梨県の各地区医師会にて10回のCKD講演会を開催し参加医師を認定連携医として
登録する作業を開始
- 2015年11月 山梨県慢性腎臓病予防推進対策事業としてCKD予防推進対策協議会を立ち上げ第1回を開催
- 2016年4月 山梨県CKD医療連携(第1期)を開始 CKD医療連携ニュースレター
- 2017年10月 山梨県糖尿病対策推進会議再開
- 2018年6月 糖尿病性腎症重症化予防プログラムWG始動
- 2018年10月 糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定策定(11月締結)山梨県医師会、山梨県糖尿病対策推進
会議、山梨県CKD予防推進対策協議会、山梨県)
- 2019年9月 2020年からの山梨県CKD医療連携(第2期)に合わせて連携認定医の
更新のための研修会を山梨県の各地区医師会にて開催
- 2020年3月 各市町村に糖尿病性腎症重症化予防プログラム実施状況調査
- 2020年4月 第2次CKD対策開始、
- 2021年4月 YouTubeによる動画配信開始
- 2021年11月 CKD連携認定医の更新のための研修会をWebで開催
- 2022年4月 山梨腎臓病療養指導士の会設立、 YouTubeによる動画を人間ドック、特定健診の共通資材化
- 2022年8月 山梨腎臓内科医会設立